

①

太鼓作り

*は保育者の振り返りを踏まえた気付き

遊びの中で「ア！ソーレ！」とお囃子ごっこを盛り上げていた子ども達。
太鼓のおもちやが大人気だったので自分専用の太鼓を作りました。

*色の広がりを楽しみ、腕をコントロールしながら描くことが出来ていた。

環境設定

【材料】

- ・ダンボール紙厚紙
- ・絵の具
- ・筆
- ・紐（3色）



子どもの姿

初めて筆を使って色塗りに挑戦！

「みて～！たいこの色になってきたよ！」とグルグルと腕を動かし、塗る事を楽しんでいました。



二枚の太鼓を重ねて、「ここかな～」と夢中で穴に紐を通していました。



子どもの気付き

たいこになってきたよ！



筆をグルグルと広げていくと大きくなり、色が付いていくことに気付いていました。



つぎはこっちかな？

小さな穴に通す難しさを感じながらも「こっちかな？」と考えたり、通せた時の「できた！」という達成感を感じていました。

② 音あそび（室内）

*は保育者の振り返りを踏まえた気付き

環境設定

【用意したもの】

- ・園にあった太鼓
- ・手作りダンボール太鼓
- ・空き缶太鼓



すごい！！

なんかドーン！っておっきいおとがする！



様々な種類の太鼓を叩くと「あれ？なんか音が違うね！」と音の違いを発見し、「ここはどうかな？」と興味を持っていたので色々な物を用意しました。

*見つけた音を言葉で表現してもらおうと子どもたちはそれぞれ異なる言葉で表現をしていた。言葉の表現がより豊かになっており、活動の広がりが生まれている。

子どもの姿

自分で作った太鼓を壁に貼り叩いてみると「トントコトン♪って音ができるよ」嬉しそうでした。



たいこたのし～！

笛は「ピーヒャララ♪」と高い声で真似をし本物そっくりです！



ア！ソーレ！

子どもの気付き



よこをたたくと「カツ♪」
っていうね！



叩くものや組み合わせによって「トントン」「ドン
ドン」「ペチペチ」という音の違いを発見していま
した。本物の太鼓の音の大きさに驚いていた子ど
も達。音の大小にも気付きました。

③ お囃子ごっこ

自分の太鼓を作ってからお囃子ごっこが大流行だったのでお祭りコーナーを作りました。太鼓だけでなく、「お囃子といえば何かな？」と子ども達のイメージや知っていることをアイテムとして用意し、どんどん遊びの中に取り入れていけるようにしました。

環境設定



小部屋にある小上がりを山車に見立てて太鼓やお面を用意しました。

更に遊びを楽しめるようにちょうちんも飾り、お祭りコーナーを作りました。

子どもの姿

コーナーを作ったことでお囃子ごっこが大盛り上がり！友達と役割を決めたり、「おししきてくださーい！」とやりとりをしたりとなりきってみんな楽しんでいました。



子どもの気付き



おししはカチカチって囃むんだよね！



おまつりには、笛もあるよね！

お囃子ごっこは太鼓を叩くだけでなく「おかめはこうだよ！」と踊りを真似して踊ったり、お獅子の被り方を本物そっくり工夫して被って遊びを展開していました！

④ 音あそび(戸外)

*は保育者の振り返りを踏まえた気付き

環境設定

【用意した物】

・ 砂場あそび用 バケツ



・ シャベル



・ 外あそび用 鍋



子どもの姿

1人が太鼓を叩き始めると「〇〇もやる！」とバケツをひっくり返し、一列に並んで「こうやるんだよ！」と教え合う姿もありました。



いっしょにいーれーて！

外では異年齢交流もあり、あかぐみさんも真似をしてお囃子ごっこを楽しんでいました。



子どもの気付き

シャベルとバケツの大きさによって「あれ？なんか音がかわった！」と高い音や低い音になることを発見していました。



こっちはどうかな？

コンコンって
おとするね！

遊具を山車に見立てて正座をして遊び、見立ての発想が広がっています。まだまだごっこ遊びは続きます！



みて！おはやしの車みたい！

部屋だけでは物足りず、外遊びの時には「たいこやろう！」と砂場び用のバケツをひっくり返して楽しんでいた子ども達。太鼓の代わりになるものを考えて自分達で見つけていました。

*活動を重ねるにつれて音に敏感になり、色々な音に気付いてそれを言葉で表現する姿が見られる。今後は音を組み合わせたり音楽要素も入れながら音の幅を広げていきたい。

⑤ 太鼓を叩いてみよう！

*は保育者の振り返りを踏まえた気付き

環境設定



地域のお囃子の方に太鼓を借りに行き、台車で運び、園に持って帰った。ホールのプロジェクターを使用し、お囃子の映像と音を流し、合わせてお囃子ごっこを行った。

子どもの姿

映像や音があることで今まで以上に雰囲気があり、盛り上がっていた。踊りを真似したり、リズムに合わせて叩こうとする姿も見られた。他のクラスも巻き込んで異年齢交流を行った。



*本物の太鼓を叩き、音が大きいということに驚き、映像を見て真似をする力があり、自由に表現が出来ていた。プロジェクターの影に気が付いて自分の影を楽しみながら踊っている子もいて視野が広がったと感じた。

子どもの気付き



おっきいね！



みて！
じょうずでしょ！？

山車も見せてもらい「すごい！」「おっきい！」と大興奮の子ども達。念願の太鼓を叩くときは目を輝かせて「わ～！すごい」「なんか良い音ができる！」と太鼓の音を楽しんでいた。

*山車を見たことでお囃子への興味がより深まった。活動の中で友達と共感をしたり、一緒にやりとりを楽しみながら遊ぶ場面が増えていった。今後も子どもの興味のある事を深めて遊びへと繋げていきたい。